



2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

2019年2月4日

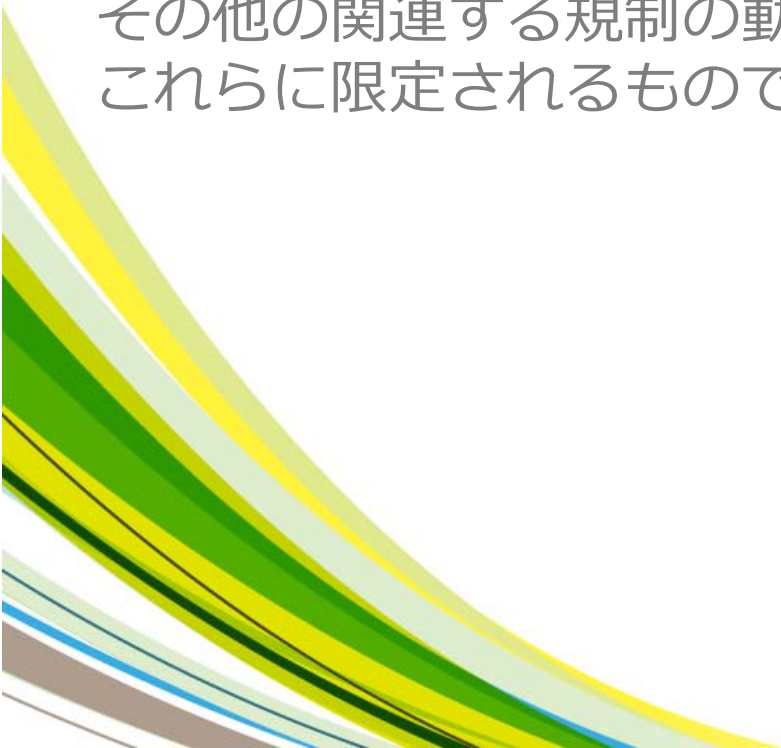
株式会社ティーガイア

免責事項

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。

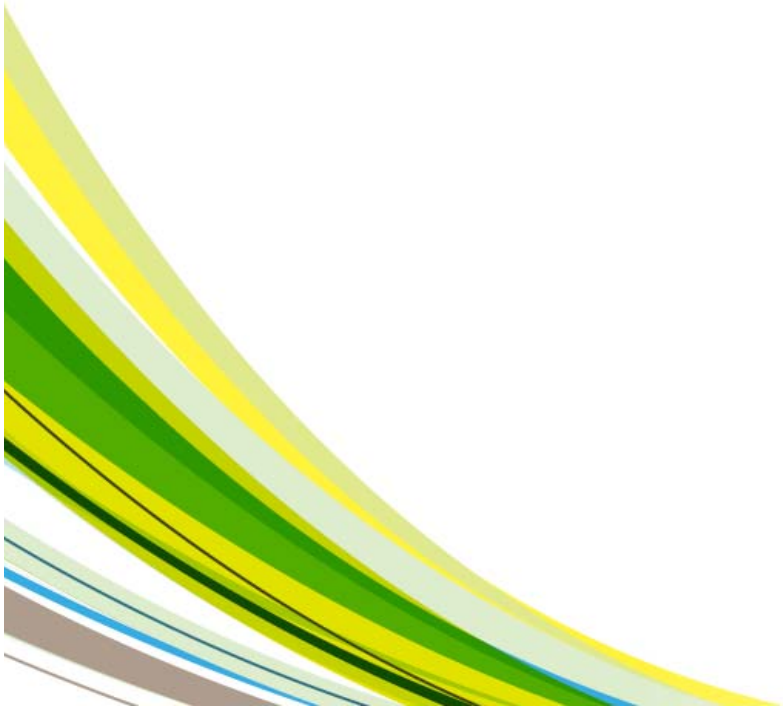
実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。



目次（ページ）

① 2019年3月期3Q 連結決算概要	4～9
② 2019年3月期3Qセグメント業績・取組み	10～22
③ 2019年3月期連結業績予想と最近の取組み	23～33
④ 全社共通 財務情報	34～36





2019年3月期3Q 連結決算概要

2019年3月期3Q 連結決算ポイント

- 親会社株主に帰属する四半期純利益※

101.5億円（前年同期比153.2%）

（営業利益108.3億円、前年同期比108.5%）

- (株)クオカードの連結について

2018年3月期4Qより(株)クオカードの損益を連結しております

※ 以下「四半期純利益」とする

2019年3月期3Q 連結決算概要

(単位：億円)	18/3期 3Q累計	19/3期 3Q累計	前年同期比	19/3期 通期計画	達成率
売上高	4,008.5	3,768.0	94.0%	5,400.0	69.8%
売上総利益 (売上総利益率)	459.8 (11.5%)	507.0 (13.5%)	110.2% (+2.0 p)	695.0 (12.9%)	73.0%
販管費	360.0	398.6	110.7%	546.0	73.0%
営業利益 (営業利益率)	99.8 (2.5%)	108.3 (2.9%)	108.5% (+0.4 p)	149.0 (2.8%)	72.7%
営業外損益※ (カード退蔵益他)	0.6	42.3	—	51.0	83.0%
経常利益	100.4	150.6	150.0%	200.0	75.3%
四半期純利益	66.2	101.5	153.2%	135.0	75.2%
販売台数 (万台)	332.2	297.4	89.5%	446.5	66.6%

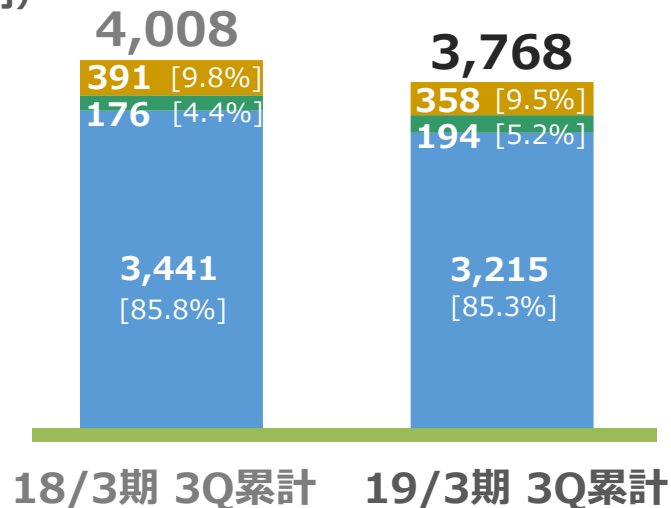
※ 18/3期4Qより(株)クオカードの損益を連結しております。なお、営業外損益についても19/3期 通期計画に変更はございません。

連結売上高・営業利益・四半期純利益

■ モバイル事業 ■ ソリューション事業 ■ 決済サービス事業他

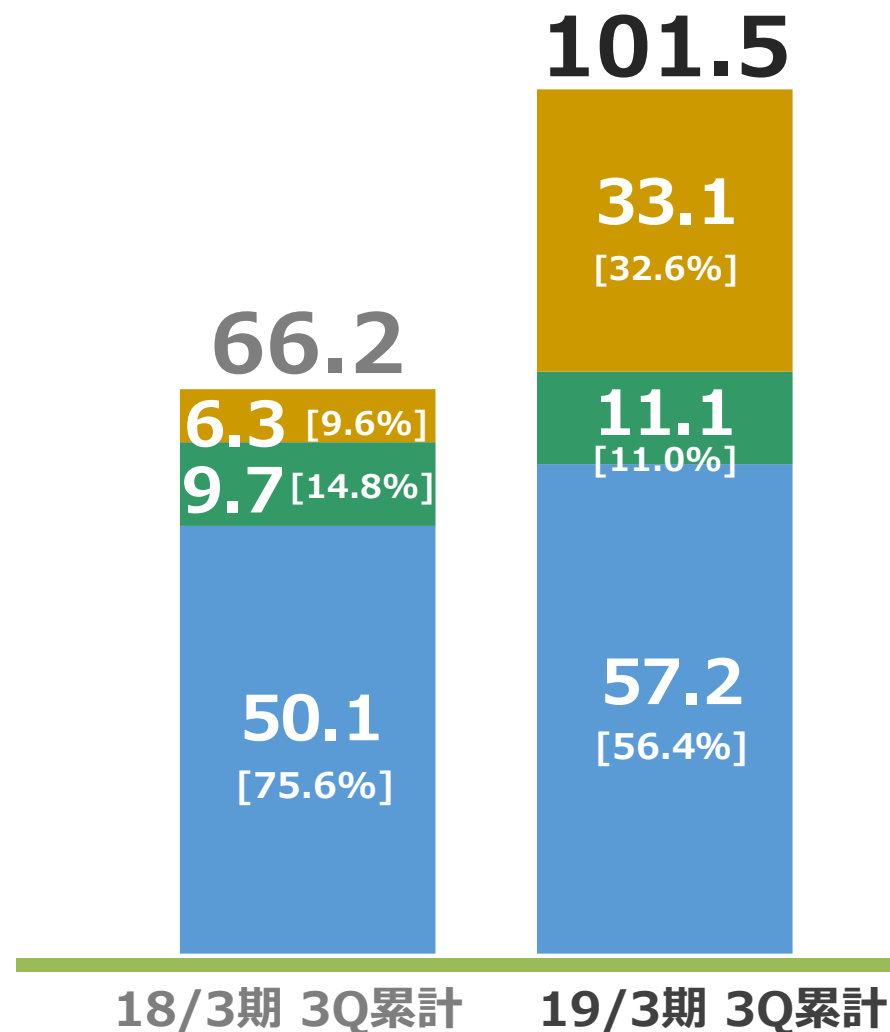
売上高

(億円)



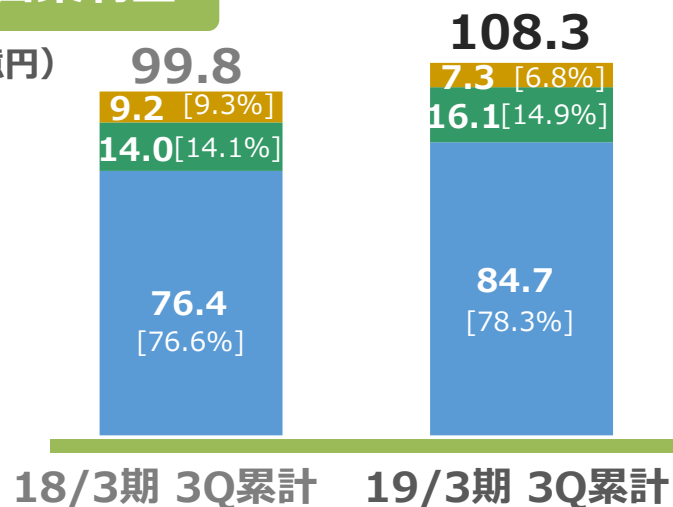
四半期純利益

(億円)



営業利益

(億円)

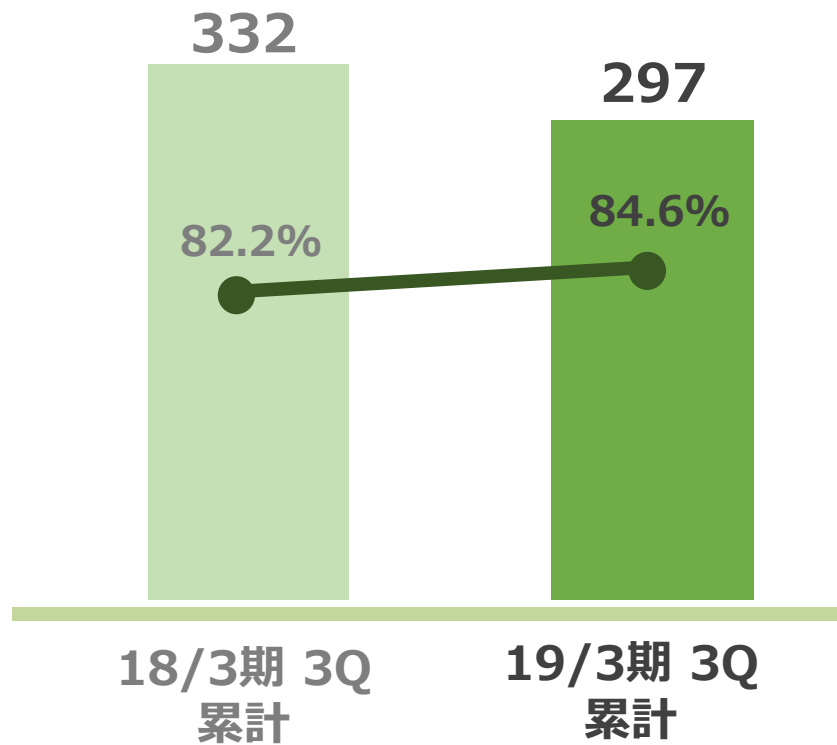


※ [] 内の数値は売上高、営業利益および四半期純利益のセグメント別構成比

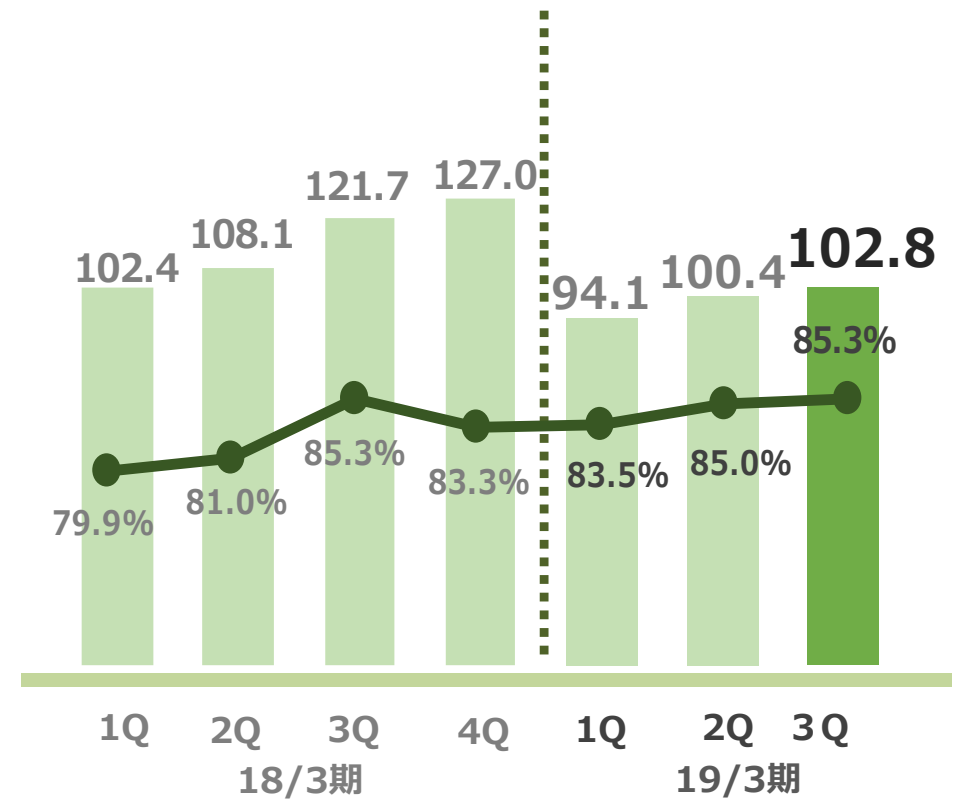
全社販売台数

携帯電話等販売台数

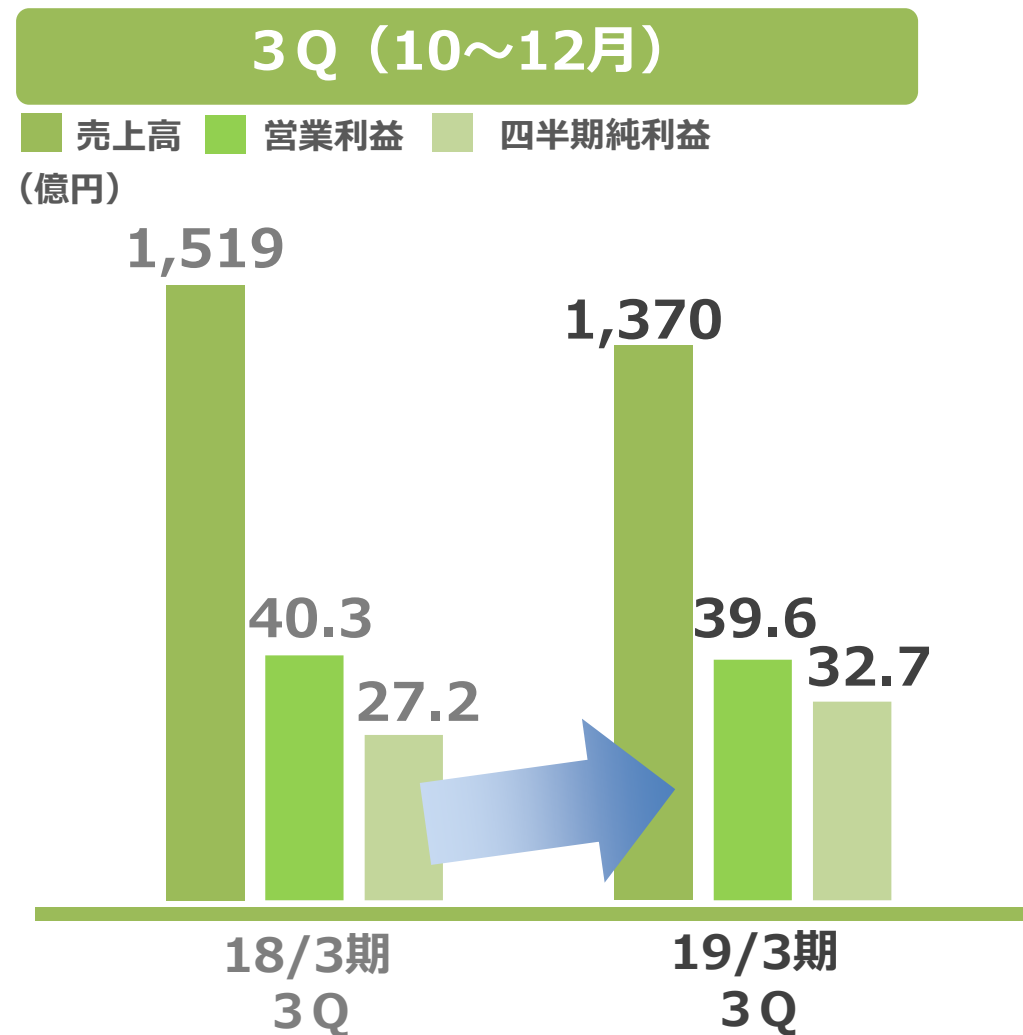
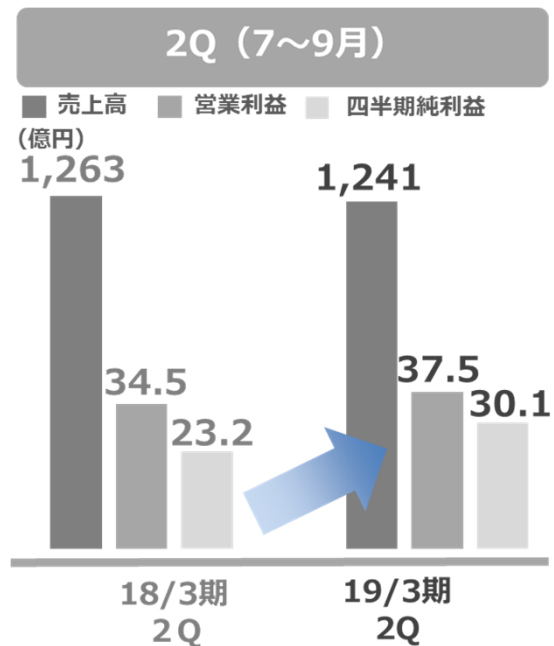
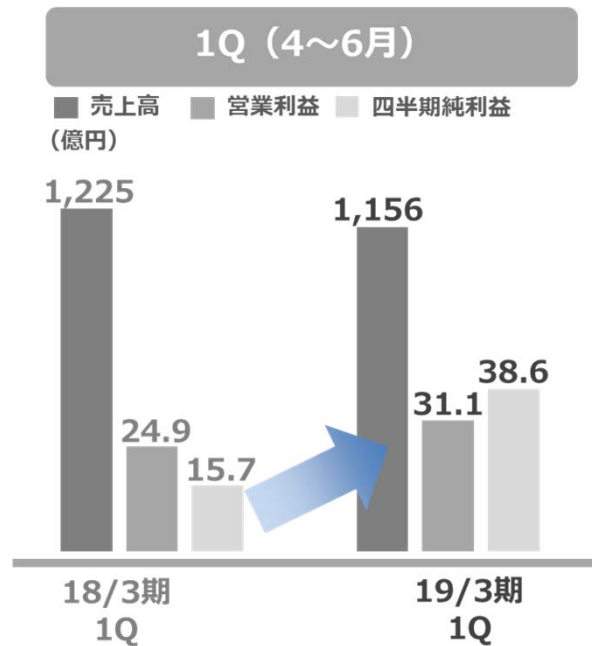
■ 販売台数 ●— スマートフォン・タブレット比率
(万台)



四半期推移



会計期間比較



一部販路における商流見直しや、3Qの主要新機種の販売台数が想定を大幅に下回ったことにより売上高・営業利益ともに減少
ただし、四半期純利益では増益

モバイル事業 セグメント業績

携帯電話等販売台数

(万台)

321.0

283.3

18/3期
3Q累計

19/3期
3Q累計

売上高・営業利益・四半期純利益

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)

3,441

76.4

50.1

18/3期
3Q累計

3,215

84.7

57.2

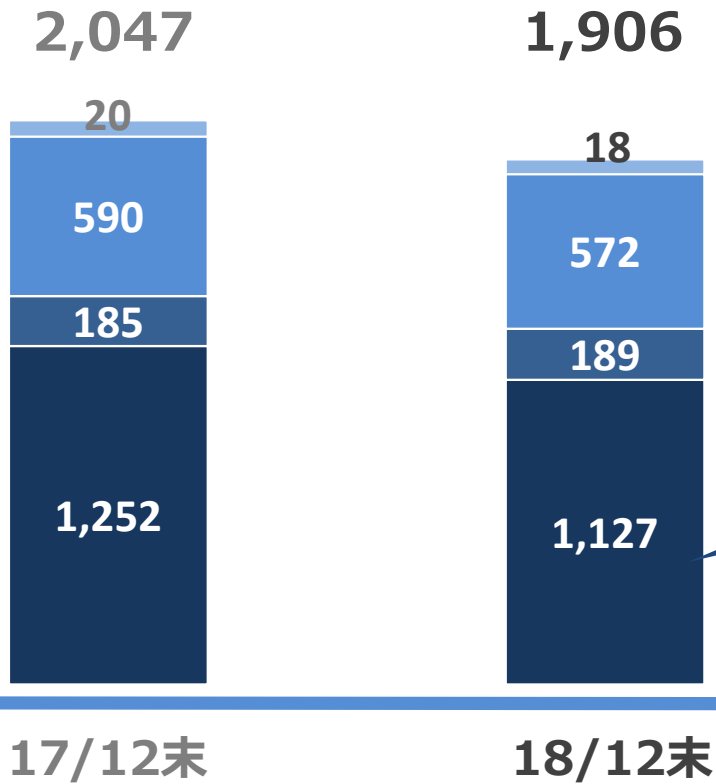
19/3期
3Q累計

販売台数減少により減収
1台あたりの収益力向上により増益

販売拠点数

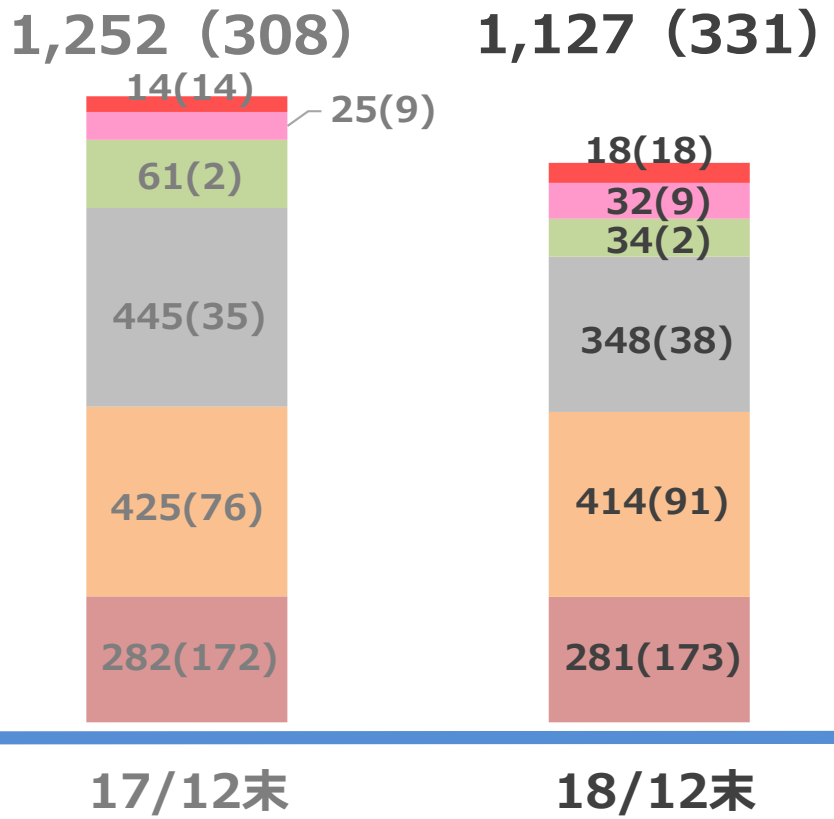
販売拠点数推移

■ キャリアショップ
 ■ 併売店等
 ■ 量販店
■ アクセサリーショップ



キャリアショップ推移 ※()内は直営店数

■ ドコモ
 ■ au
 ■ SB
 ■ YM
 ■ UQ
 ■ 楽天



一部販路における商流の見直し等により販売拠点数は減少
 キャリアショップ直営店数は増加

店舗投資

移転



ドコモショップ
ベイシアふかや花園店

直営化



auショップ
イオンモール幕張新都心



auショップ 横川

デュアルブランド化



ソフトバンク菊川



ソフトバンク新発田

移転・改装・直営化等、店舗強化のための投資を継続

Smart Labo取組み

プライベートブランド

Bellezza Calma

ーベレッツァカルマー



“左利きの方”も
使いやすい
手帳型スマホ
ケース



薄型スマホリング

ガラスコーティング



お客様の声

操作しやすい

画面がきれい

好評受付中

新店舗



コクーンシティ さいたま新都心

みんなの暮らしラボ

知って聞いて使って得する

みんなの暮らし

ラボ

月額730円



聞

いて安心▶

専門家のアドバイスで、
もっと人生を楽しく豊かに生きる

使

ってお得▶

会員だけでなく、家族や
友人たちとお得に毎日を過ごす

Powered by WELBOX



当社の直営ドコモショップにて
好評申込み受付中

店舗力強化の取組み

人財教育



教育担当者（SV）と店舗ごとの
トレーナーがスタッフをフォロー

カテゴリ	プログラム名
新人教育	新人スタッフ本社集合研修
	新人ブラッシュアップ研修
	業務知識研修
キャリアアップ	店長、副店長、チーフ研修
資格/試験対策	キャリア資格試験
	応対コンテスト研修

パートナー代理店強化



当社の優秀なスタッフを
パートナー代理店各社へ出向



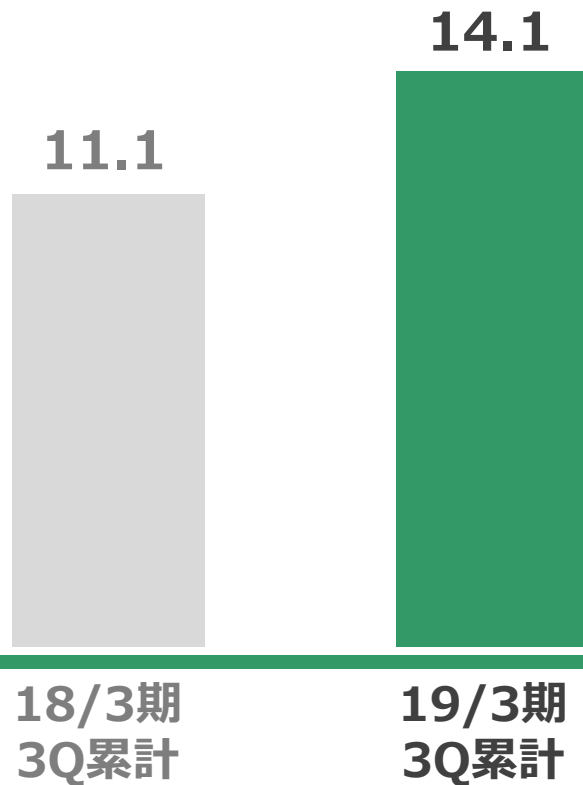
店舗環境に合わせた目標設定や
進捗管理のためのマインドセット等を実施

業界最大手のノウハウをグループ内に展開

ソリューション事業 セグメント業績

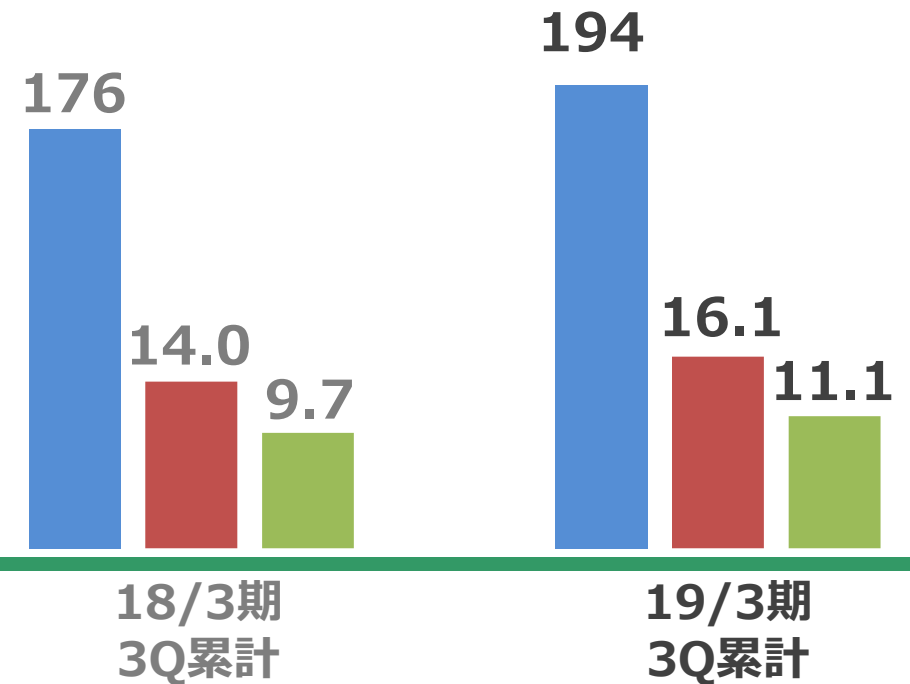
携帯電話等販売台数

(万台)



売上高・営業利益・四半期純利益

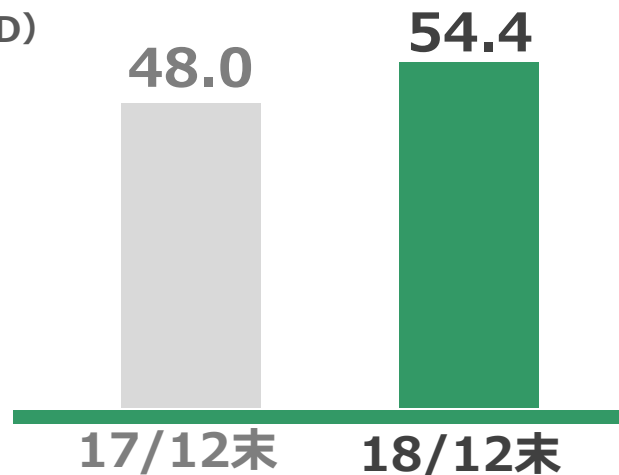
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)



法人向け端末・モバイルソリューションの
販売好調により増収増益

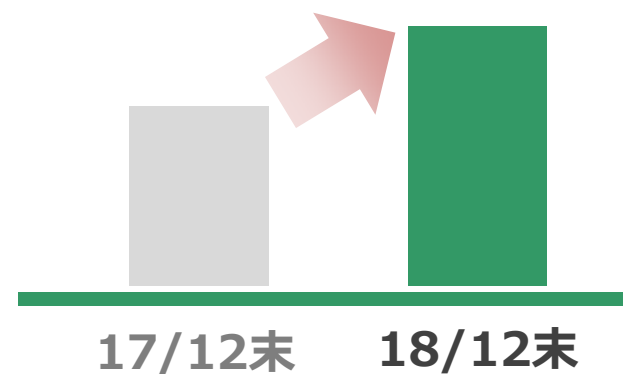
movino star ID数

(万ID)



※ movino star…法人向け通信回線一括管理サービス

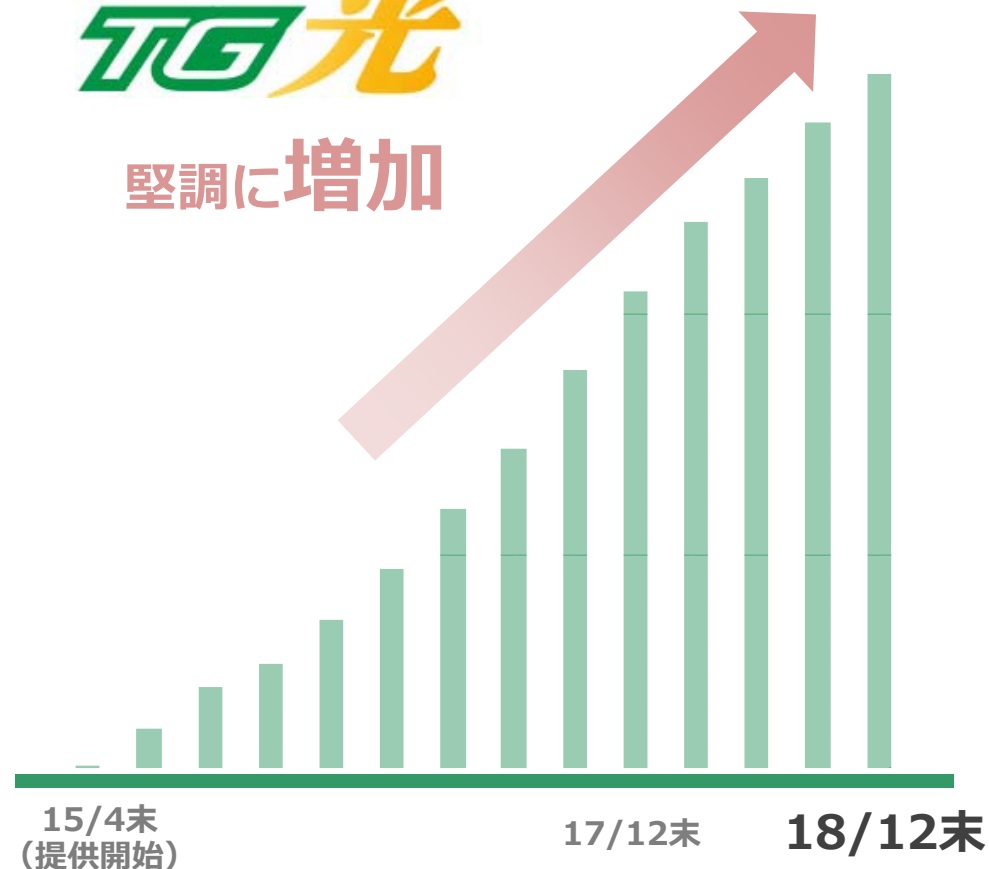
ヘルプデスク ID数



TG光 累計回線数（再卸含む）

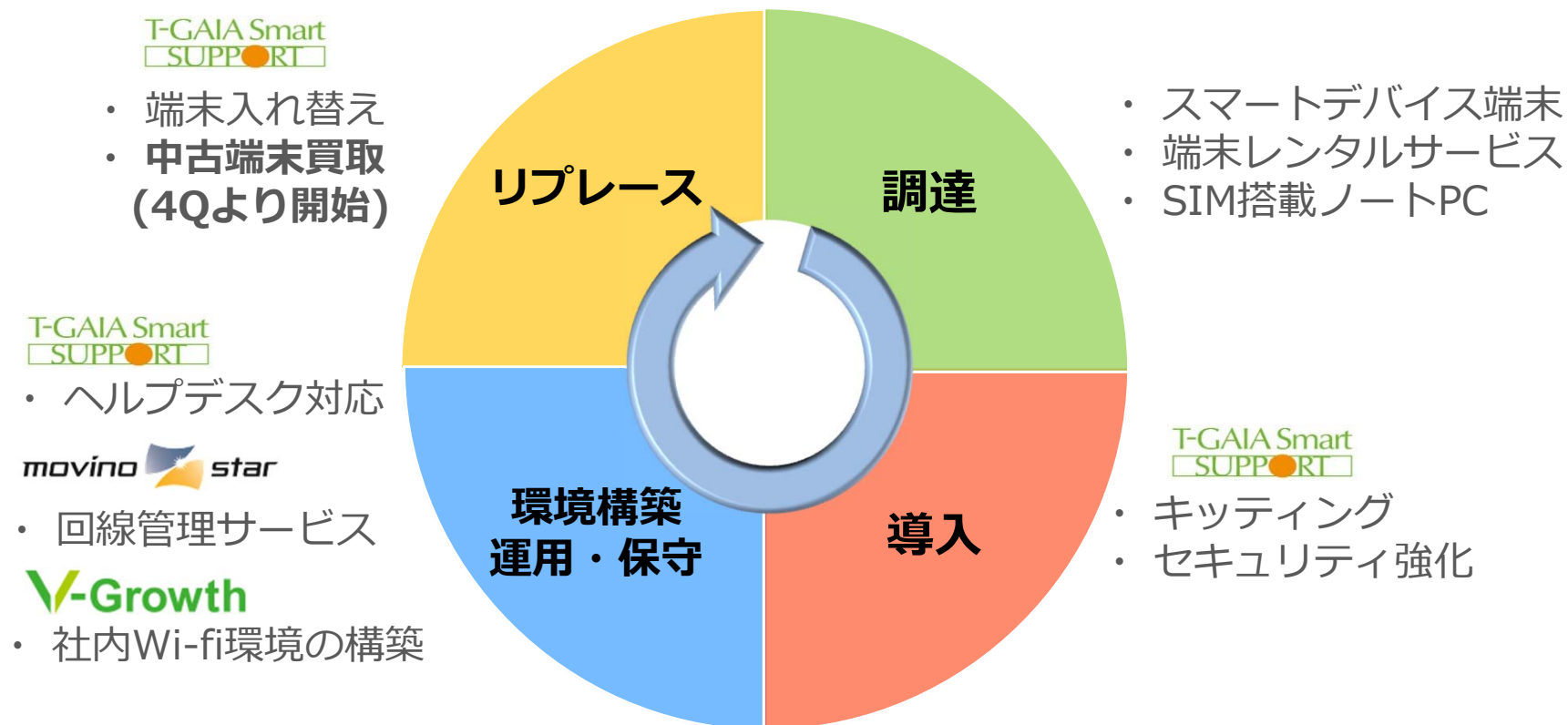


堅調に増加



回線数・ID数は順調に増加

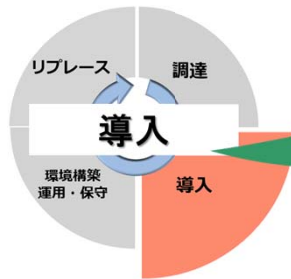
中古端末市場の活性化を視野に 端末買取サービスを開始



提案調達からリプレイスまでワンストップ支援

※LCM・・・Life Cycle Management

新たなLCM商材の取り扱い開始



新たなセキュリティソリューション



世界で1億台以上！
モバイル専用セキュリティ

モバイル・セキュリティのルックアウト  が
モバイル・ワークのあんしんを実現

マルウェア
対策

WiFi対策

フィッシング
対策

脆弱性管理

特許技術
による
予測分析

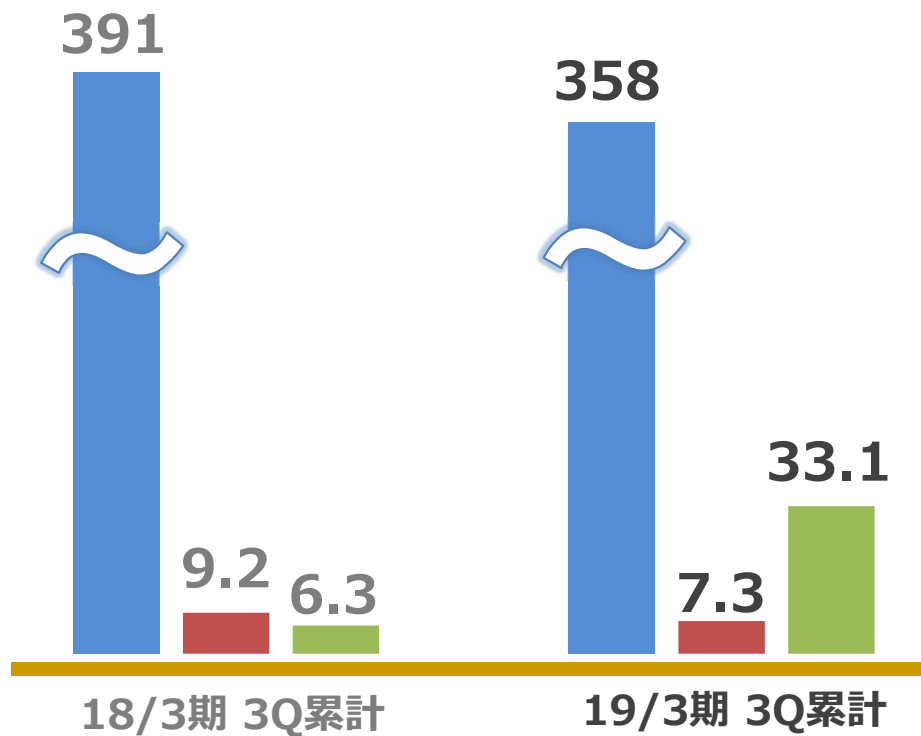


スマートデバイス導入への不安を払拭、
法人の業務効率化を支援

決済サービス事業他 セグメント業績

売上高・営業利益・四半期純利益

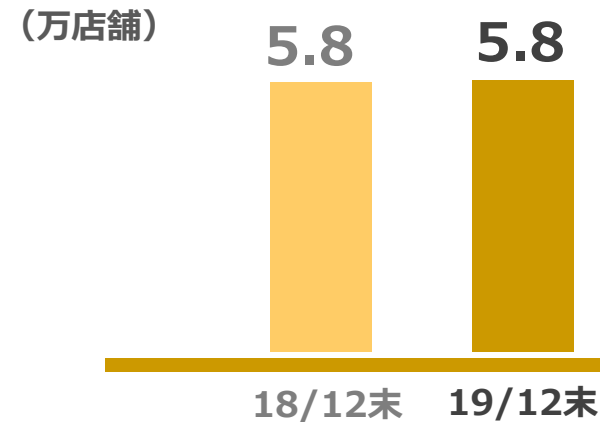
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)



PIN・ギフトカード取扱高



PIN・ギフトカード取扱店舗数



2Qより大手販路とギフトカード商材の取引開始し
PIN・ギフトカード取扱高が前年同期比で増加

決済サービス事業他 取組み（株式会社クオカード）

（株）クオカード取組み

● QUOカード発行高

約14%増



18/3期
3Q累計

19/3期
3Q累計

● QUOカードラインナップの拡充



用途や季節に合わせた商品、
ご当地等、ラインナップ[®]拡充

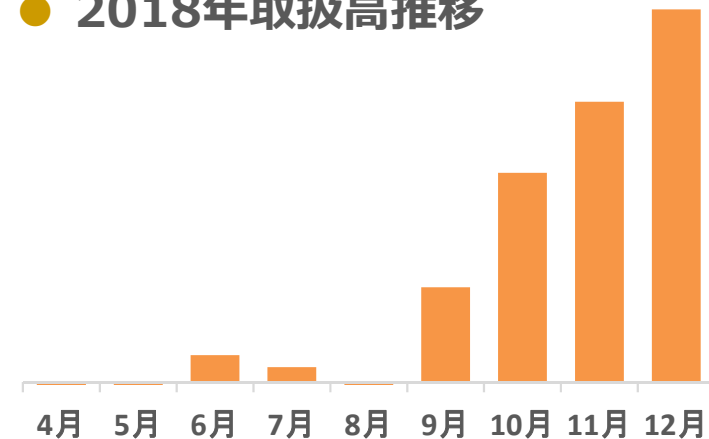
既存QUOカードの発行・利用 好調

海外事業

東南アジアでの取組み




● 2018年取扱高推移



タイにて大手書店とのハウスカードの取引を開始し、取扱高は堅調に伸長※

今後の成長に向けた基盤を構築

※(株)バリューデザインとの合併事業(当社25%出資)



2019年3月期 連結業績予想と最近の取組み

2019年3月期 全社連結業績予想

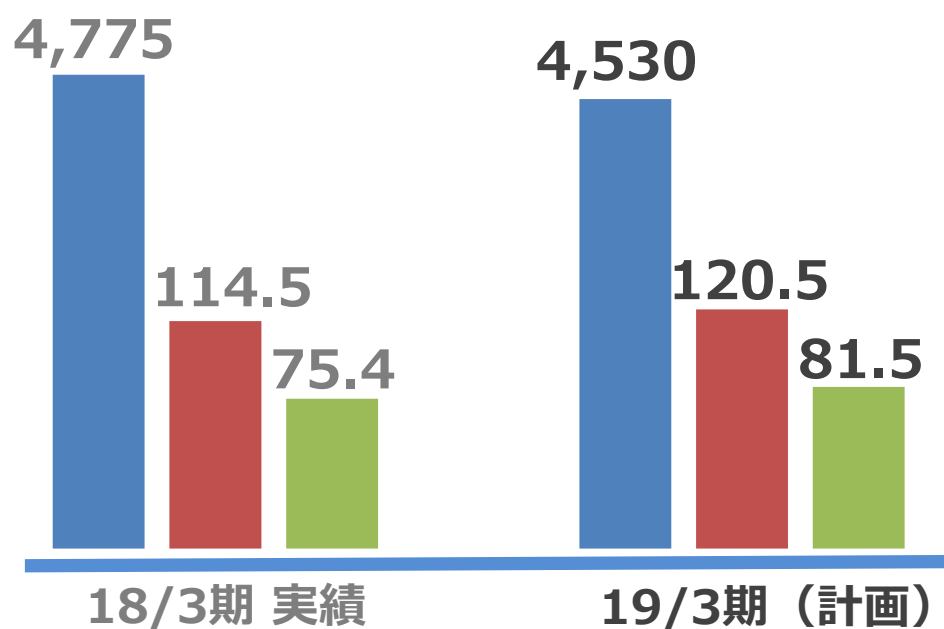
(単位：億円)	18/3期 通期 実績	19/3期 通期 計画	前期比	
売上高	5,527.7	5,400.0	▲127.7	▲2.3%
売上総利益	642.7	695.0	+52.3	+8.1%
販管費	498.1	546.0	+47.9	+9.6%
営業利益	144.5	149.0	+4.5	+3.1%
営業外損益 (カード返蔵益他)	8.7	51.0	+42.3	+486.2%
経常利益	153.3	200.0	+46.7	+30.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	101.6	135.0	+33.4	+32.9%
販売台数 (万台)	459.3	446.5	▲12.8	▲2.8%

※ 19/3期 通期計画に変更はございません。

2019年3月期 セグメント別連結業績予想①²⁵

モバイル事業 業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益
(億円)

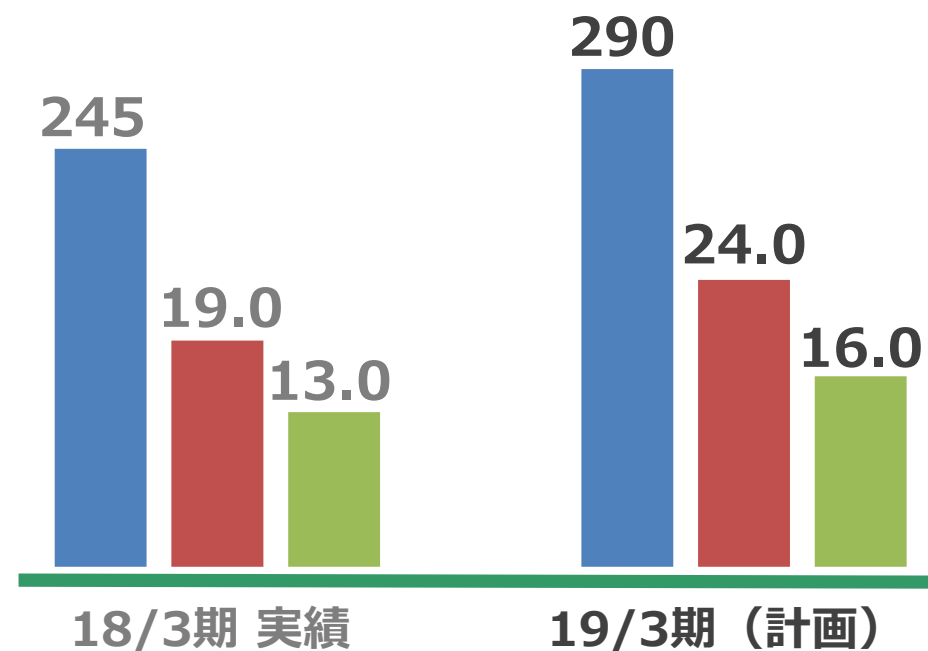


販売台数 (計画)

428.5万台

ソリューション事業 業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益
(億円)



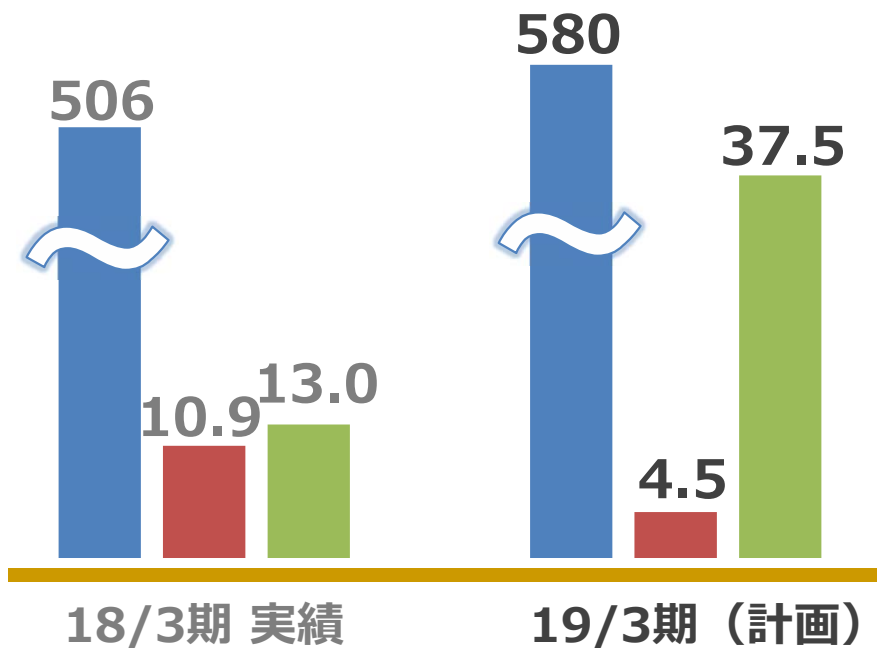
販売台数 (計画)

18.0万台

2019年3月期 セグメント別連結業績予想②²⁶

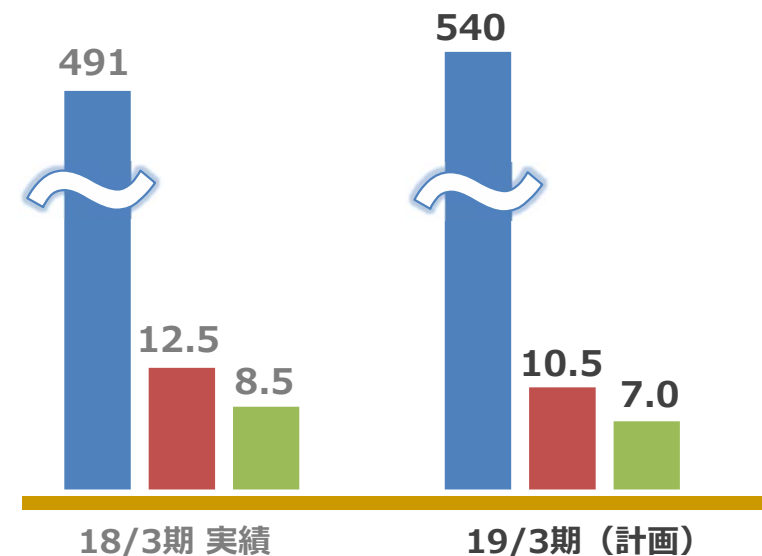
決済サービス事業 業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益
(億円)



【参考情報】決済サービス事業 業績予想 (株クオカード除く)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益
(億円)



最近の取組み クオ・カード ペイ

- デジタル版QUOカード
2019年3月14日クオ・カード ペイ販売開始予定



- 2019年3月26日 ローソン約15,000店舗全店で
利用開始予定

LAWSON

最近の取組み クオ・カード ペイ

もらって、うれしい。
QUOカードPay

2019年3月14日 販売開始！

店頭での利用開始は2019年3月下旬予定となります。



ユーザー認知度 **92.3%!** ※

あの“QUOカード”が
便利なデジタルギフトに
なりました！



※株式会社インテージ2018年6月期インターネット調査によるもので、調査結果はカードタイプのクオ・カードを対象としたものです。

最近の取組み クオ・カード ペイ

3ステップで使える簡単便利なデジタルギフト



1

クオ・カード ペイのURLを
スマートフォンに送信

メールや各種SNSなど、URLを送れるツールであればいつでも簡単、スピーディに送ることができます。



2

クオ・カード ペイの受け取りは
URLを開くだけ。

届いたURLを開いて受け取った金額が表示されたら受け取り完了。より便利に使える専用アプリも用意しています。



3

あとはお店で見せるだけ。
サインも本人確認も不要です。

お店での決済方法は、バーコードを読み取ってもらうだけ。残高がある限り何度でも利用でき、現金とも併用可能です。

最近の取組み 全社生産性の向上



T・GAIA 10周年記念

『カイゼン』コンテスト

※ティーガイア設立10周年記念として全国
約400の拠点・店舗にて3か月にわたり
業務のカイゼンに取り組むコンテストを実施。

ドコモショップ

大東南店

グランプリ

【カイゼンテーマ】

完全予約制導入による待ち時間カイゼン

【取組み内容】

- ① 事前予約を徹底
- ② いつどのような手続きのお客様が来店するか把握し適切な人員配置



店頭では当日の予約状況を
可視化し受付可能時間をご案内

待ち時間短縮とお客様に合った提案の実現
優良取組み事例として事業者より全国へ展開

最近の取組み CSR

● 職場環境の整備

ダイバーシティ & インクルージョン



● 女性の活躍推進

(2018年7月時点 女性管理職比率10%以上)

- えるぼし最高位<3段階目>取得
- ショップでの障がい者の積極採用と活躍推進
- 育児や介護と仕事の両立支援
- 一部在宅勤務実施
- 「第3回ホワイト企業アワード」
育児支援部門 大賞 受賞



健康宣言※策定

【ティーガイア 健康宣言】

—健康宣言—

ティーガイアは「社員とその家族を大切にし、働く喜びを実感できる企業であり続けます。」を会社の一番重要な使命として掲げており、わたしたちと、わたしたちの家族がより健康で、エネルギーに満たされた状態にあることが、事業の発展にとって重要だと考えます。

将来にわたって「新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供する」企業であり続けるために、人事担当役員を中心に社員の健康維持・増進を積極的に支援していくことを宣言いたします。

—行動方針—

- 会社は、人材の「多様性を尊重する」とともに、「健康のかたちもまた多様である」という認識の下、全ての社員が安全で衛生的で健康的に労働できる「風通しの良い職場環境」を整備し、最高のパフォーマンスを生み出す働き方を支援します。
- 社員は、自分自身がより健康であることが、会社のエネルギーの源であることを十分意識するとともに、健康維持・増進に関わる最新の情報、社内外の制度を正しく理解したうえで、自身がより健康であるために必要な情報を会社や同僚に向けて積極的に発信していきます。そして、職場の理解を得ながら、互いに支え合い、自身が目指す健康の実現に向けて行動します。

2018年10月

株式会社 ティーガイア
代表取締役社長 金治 伸隆

企業理念に基づき、当社が「健康経営」に取り組む姿勢を社内外に宣言

※「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること

働きやすい職場環境の整備を推進

最近の取組み CSR

社員参加型のボランティア活動

- **e-ネットキャラバン** インターネットの安心・安全な利用のために、子どもたちはもとより保護者・教職員等を対象に実施する啓発・ガイダンス



(活動風景)

子どもたちが安心・安全にインターネットを
使えるよう、講座を通じて啓発活動に貢献

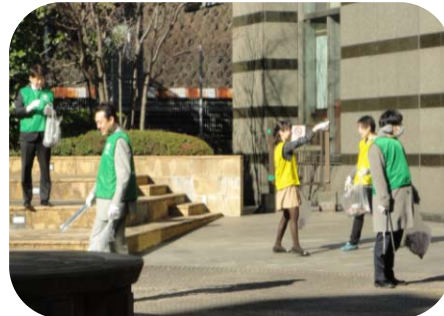
e-ネットキャラバン
認定講師数

380 名 (2018年12月末現在)

携帯ショップスタッフを中心に全国各地で講座を実施。

2018年4月には当社会長の蒔谷も講座開催。

- 日本赤十字社の血液事業に対し、積極的に献血活動を実施
- 恵比寿本社ビル周辺の清掃活動を実施
サッポロホールディングス等、近隣企業と合同での清掃活動も開催
- 使用済み切手の仕分け活動を実施
東南アジアでの井戸建設を支援



最近の取組み CSR

主な協賛団体等



(公財) アイメイト協会 サポート会員として
盲導犬育成事業に協力
【提供：(公財) アイメイト協会】



NPO法人 TABLE FOR TWO Int'lに賛同し、
「CUP FOR TWO」活動を展開
【提供：NPO法人TABLE FOR TWO International】



メセナ(文化支援)活動の一環として、
「日本フィルハーモニー交響楽団」を後援
【提供：日本フィルハーモニー交響楽団】



(公財) 日本障がい者スポーツ協会
「JPSAオフィシャルサポーター」として
障がい者スポーツの推進や選手の
強化活動に協賛

当社社員も大会に出場



増本 円(右から1番目)

2017年

・ 7th Sharjah International
Open Athletic Meeting
100m 19秒49 (+2.0)
3位 銅メダル獲得

2018年

・ The 10th Fazza International
Athletics Championships 2018
ワールドパラアスレティックス
グランプリ(ドバイ大会)
100m 20秒45 (+0.1) 5位入賞

(参考)全国携帯電話販売代理店協会との連携

あんしんショップ認定制度



あんしんショップ認定マーク

- あんしんショップ認定状況 ※2018年12月末現在
認定済みキャリアショップ数 **5,422店舗 (67%)**
< 内、当社直営キャリアショップ数 **304店舗 (100%)** >

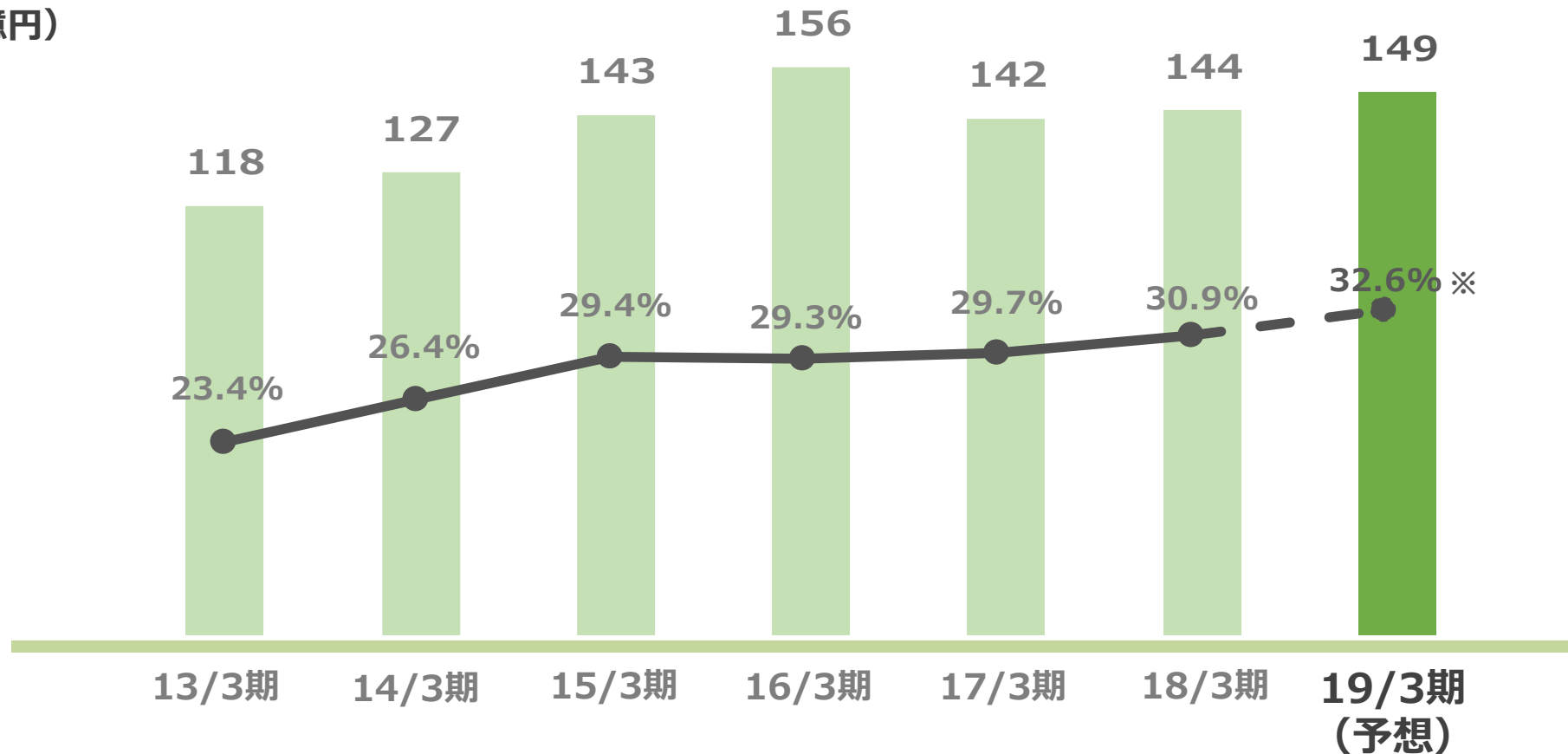
※ドコモショップ、auショップ、ソフトバンクショップ、ワイモバイルショップが対象

全社共通 財務①

● ROE・営業利益 推移

■ 営業利益 ● ROE（自己資本当期純利益率）

（億円）



高水準のROEにより
JPX日経インデックス400に継続選出

※19/3期（予想）のROEは、19/3期における親会社株主に帰属する当期純利益（予想）および自己資本の期中平均（予想）に基づき算出

全社共通 財務②

● 主要財務指標の推移

通期（単位：億円）	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期
当期純利益	65.8	68.3	77.4	94.9	96.9	101.6
自己資本	281.7	235.9	291.0	358.1	293.6	364.4
自己資本当期純利益率 (ROE)	23.4%	26.4%	29.4%	29.3%	29.7%	30.9%
投下資本利益率 (ROIC)	9.0%	10.0%	13.5%	17.3%	17.6%	20.3%
売上高営業利益率	1.6%	1.8%	2.2%	2.5%	2.6%	2.6%
純資産配当率 (DOE)	10.1%	10.0%	9.8%	9.1%	9.9%	9.3%

全社共通 財務③

● 株主還元策

19/3月期 株主還元策

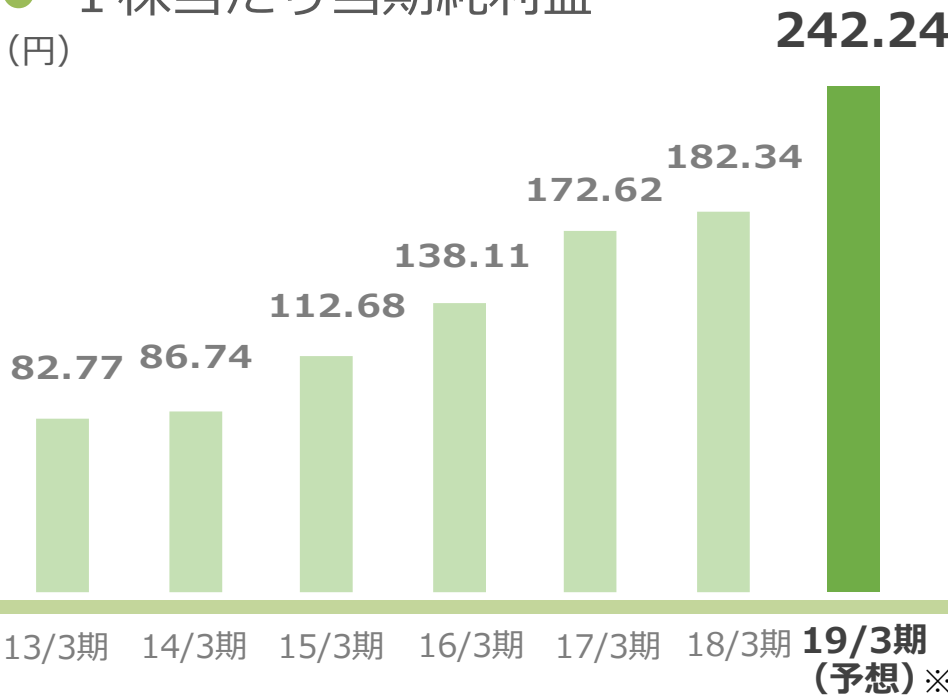
1株当たり**18円**の増配を予定（5期連続増配）

● 年間配当金：**73円**/株（中間配当金：36.5円/株、期末配当金（予定）：36.5円/株）

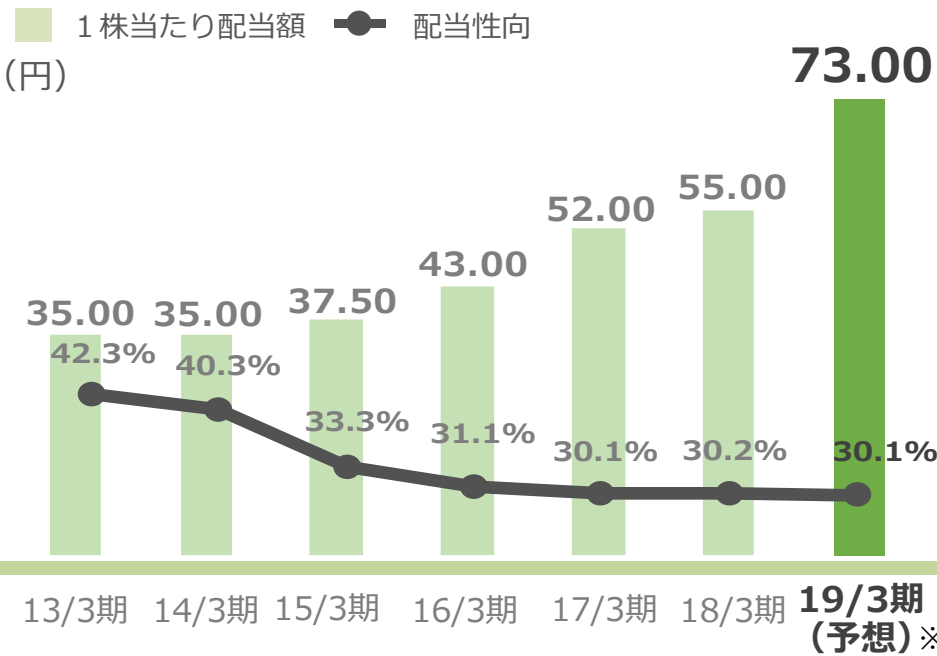
配当の基本方針

配当性向30%以上を目処として利益還元を実施

● 1株当たり当期純利益
(円)



● 1株当たり配当額と配当性向



※19/3期（予想）の1株当たり当期純利益および配当性向は、19/3期末における期中平均株式数（予想）に基づき算出